

第2回男鹿市地域公共交通活性化協議会会議録

日時： 平成29年11月27日（月） 午後1時30分

場所： 男鹿市役所 3階 第一会議室

第2回男鹿市地域公共交通活性化協議会

平成29年11月27日（月） 午後1時30分

出席委員（17人）

1号委員 岩淵 正宏

2号委員 藤原 亨

4号委員 成田 光明 敦賀 文雄 武内 信彦 糸井 博
久保市 隆

5号委員 船木 宏 白幡 克見 石垣 禮之助 佐沢 篤
小玉 正富 三浦 金悦 仲村 盛吉 夏井 智

6号委員 日野 智

7号委員 笠井 潤

代理出席（3人）

（委員名） （代理名）

3号委員 小林 仁 遠田 一彦

4号委員 塩原 敬 竹石 公之
齊藤 芳博 児玉 樹

欠席委員（5人）

4号委員 藤谷 学 佐々木 明

5号委員 佐々木 一義 高桑 繁

7号委員 佐藤 透

出席事務局職員

総務企画部長 船木 道晴

企画政策課長 八端 隆公

企画政策課主幹 太田 穰

企画政策課主事 加賀 有陽

平成 29 年度第 2 回

男鹿市地域公共交通活性化協議会総会

日時 平成 29 年 11 月 27 日

午後 1 時 30 分より

場所 男鹿市役所 3 階 第一会議室

次 第

1. 開 会

2. 委員紹介

3. 議事

(1) 議事録署名委員の選任について

(2) 平成 30 年度男鹿市単独運行バスの運行方針について

資料 1～2 及び別紙 1～2

4. 報告事項

(1) 平成 29 年度上期における

男鹿市単独運行バスの運行状況について

資料 3

(2) 男鹿市地域公共交通網形成計画策定の予定について

資料 4

(3) 潟西南部線・船越線の今後について

資料 5

5. その他

6. 閉 会

(午後 1 時 30 分開会)

○事務局（八端）

ただいまから平成 29 年度、第 2 回男鹿市地域公共交通活性化協議会総会を開催いたします。開会前に、本日の総会でございますが、15 時頃の閉会を予定しております。開会にあたりまして、資料の御確認をお願いいたします。担当から確認させていただきます。

○事務局（加賀）

事前にお届けしております資料 1 から 5、別紙 1 及び 2 のほか、本日お手元には、次第、委員名簿、追加及び差替えの資料を配布しております。内容につきましては議事の中で改めて御説明いたします。落丁等ございましたら、お申し出ください。

○事務局（八端）

はじめに、異動等に伴い今回より新たに委員となられた方を御紹介させていただきます。若美地区町内会長連絡協議会副会長の三浦様でございます。

○三浦委員

三浦と申します。よろしくお願いいたします。

○事務局（八端）

それでは、次第により進めさせていただきます。ここからの議事進行につきましては、会議規則により、日野会長よりお願いいたします。

○日野会長

それでは、議事を進めてまいります。まず、議事(1)でございます。協議会規約の規定により、2 名の議事録署名委員を選任することとなっております。選任方法について、いかがいたしましょうか。

(事務局一任の声)

○日野会長

ただいま事務局一任の声がありましたが、事務局からの提案はありますか。

○事務局（八端）

それでは、事務局から御提案申し上げます。敦賀委員と船木委員とを推薦したいと思っております。

○日野会長

事務局より敦賀委員と船木委員を推薦する声があったので、ここでお諮りいたします。両名を議事録署名委員とすることに御異議ございませんか。

(異議なしの声)

○日野会長

御異議がないようですので、議事録署名委員は、敦賀委員と船木委員に決定いたしました。両委員とも、よろしくお願いいたします。それでは、「平成 30 年度男鹿市単独運行バスの運行方針について」に移ります。事務局から説明願います。

○事務局（加賀）

事務局の男鹿市企画政策課の加賀でございます。私の方から説明を申し上げます。

はじめに、平成 30 年度の男鹿市単独運行バスの運行方針についてでございますが、本日資料 1 について差替えがございますので御用意願います。また、追加資料といたしまして系統図を用意しておりますので併せて御覧ください。

来年度、平成 30 年度の運行に当たっては、平成 29 年度のダイヤを基本としたダイヤ編成を行うことといたします。また、J R 男鹿線のダイヤ改正に合わせて、鉄道への円滑な接続に極力配慮したダイヤ調整を行うこととしつつも、可能な範囲で、通学対応系統において通学時間へも配慮してまいります。

皆さま御承知のこととは存じますが、各路線について御説明申し上げます。はじめに五里合線につきましましては、定時定路型で運行している系統となりまして、五里合地区の中石を起点とし、脇本地区を経由して JR 脇本駅前までを結んでおります。

次に、男鹿中線についてであります。上りは定時定路型、下りは予約運行型の運行となっております。男鹿中地区の浜間口を起点とし、男鹿中地区と船川地区の一部を経由しながら、JR 羽立駅にて JR 男鹿線及び男鹿北線と接続しております。

次に、安全寺線についてであります。こちらはすべて定時定路型の運行でありまして、北浦地区の安全寺を起点とし、真山、西水口の各集落を経由して、北浦市民センターにて男鹿北線と接続しております。

次に、入道崎線であります。こちらは定時定路型と予約運行型を併用した路線となっております。北浦地区入道崎を起点とし、湯本駐在所にて男鹿北線と接続しております。

次に、戸賀加茂線についてであります。入道崎線と同様の定時定路型と予約運行型の併用となっております。加茂を起点としまして、戸賀地区各集落を経由しながら、湯本駐在所にて男鹿北線に接続しております。

続いて、潟西北部線についてであります。こちらは下五明光系統を基本とし、その他の 3 系統は通学対応系統となっております。下五明光系統は若美地区北部の下五明光を起点とし、若美支所にて潟西南部線に接続しております。美野系統につきましましては、美野を起点とした通学対応系統となっております。また、美里小学校①、②系統につきましましては、下五明光系統を基本として、美里小学校を経由するルートを追加した系統となっております。差替え資料の修正に関しましては、こちらの美里小学校②系統が定時定路型となっておりますところを、デマンド型と修正したものであります。

最後に、男鹿南線についてであります。こちらはみなと市民病院を起点とし、JR 男鹿駅、男鹿海洋高校を経由し、椿地区の門前へ向かう系統となっております。男鹿南線につ

きましては、JR 男鹿駅から海洋高校までを結ぶ、通学対応系統を設定しております。

路線の説明については以上でございますが、平成 30 年度の運行に当たって留意事項がございますので御説明いたします。資料 2 及び別紙の 1、2 を御覧ください。

はじめに、五里合線についてであります。来年 8 月から 12 月頃にかけて、百川地区において下水道管等の敷設工事が予定されております。百川地区は道路幅が狭く、工事車両が設置されることにより通行規制が予想されるため、工事期間中において迂回運行が必要であると考えております。現時点では、工事区間が確定しておりませんので、工事区間及び迂回経路が確定次第、地区説明会を実施する予定であります。また、五里合線につきましては、地域内フィーダー系統として国庫補助対象路線となっておりますので、変更申請等が必要であれば、秋田運輸支局様や東北運輸局様と協議しながら、手続きを進めてまいります。具体的な工事予定区間については別紙 2 に記載しておりますとおり、百川上丁から、滝の頭入口までの区間となっております。別紙地図上では表示がありませんが、現在はバイパスが整備されておりますので、迂回経路としてそちらを利用することを考えております。

続きまして、男鹿南線についてであります。来年 7 月に J R 男鹿駅の移設が予定されていることに伴い、バス停留所の位置変更が必要となる場合がございます。基本的には変更が必要なものと考えておりますが、変更にあたっては、男鹿北線、船越線を運行する秋田中央交通株式会社様や JR 東日本秋田支社様と協議の上、利用者の利便性及び運行の安全性が確保されるよう検討し、位置を選定してまいります。別紙 2 に現在の男鹿南線の運行経路と駅の移設予定先を記載しております。現段階では運行経路上での位置変更がよいのではと考えておりますが、具体的な変更先が確定次第、皆さまへお示しすることといたします。

平成 30 年度市単独運行バス運行方針に関する説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

○日野会長

ただいま、事務局から説明がありましたが、質問や意見はございませんでしょうか。私から 1 点よろしいですか。五里合線について、工事期間中の迂回運行を検討されているとのことですが、工事区間内のバス停についてはどのように取り扱う予定ですか。

○事務局（加賀）

工事区間内のバス停につきましては、集落内からバイパスへ向かう道とバイパスの交差する地点への設置を考えております。具体的な位置については地域との協議の上、決定する予定としております。

○日野会長

ありがとうございました。他に御意見や御質問はありませんか。それでは、お諮りいたします。本案に御異議ございませんか。

（異議なしの声）

○日野会長

御異議がないようですので、「平成 30 年度男鹿市単独運行バスの運行方針について」は、本案のとおり承認されました。引き続き、報告事項に入ります。平成 29 年度上期における男鹿市単独運行バスの運行状況について、事務局より報告願います。

○事務局（加賀）

引き続き私の方から、説明申し上げます。本件につきましては、乗降調査等の精査が完了していない状況ですので、あくまで数値のみの報告となりますが御了承ください。

まず、資料 3 を御覧ください。左上の五里合線と記載されている箇所につきまして、総括表の誤りですので訂正いたします。

それでは全路線合計の総括について報告いたします。平成 29 年度上期における利用者の合計は 28,571 人と数値上は増加しております。しかしながら、昨年度の上期においては男鹿南線が運行しておりませんでしたので、男鹿南線分を除きますと 17,399 人となり、昨年度から減少している状況です。要因といたしまして、児童の利用の減少が挙げられます。定期券収入の欄からお分かりいただけるかと思いますが、昨年度に比べて児童数の減少があり、利用者数の減少にも影響を与えているものと考えられます。運行収入に関しましても、増加している要因は男鹿南線の運行開始によるものでありますが、一部路線においても収入の増加がみられましたので、後程説明させていただきます。定期券収入については、先ほどの説明いたしましたとおり、児童数の減少に伴って減少しております。参考までに、各年度の定期券利用者数の推移を申し上げますと、平成 27 年度は 69 名、平成 28 年度は 67 名、平成 29 年度は 56 名となっております。

それでは路線別の報告に移ります。はじめに、五里合線につきましては、昨年度に引き続き利用者数、運行収入ともに増加しております。児童数が減少している中でも利用者数が増加しているということではありますが、一般の利用者の増加要因といたしまして、大手スーパー付近バス停での乗降が増えていることから、買い物時のバス利用に対する需要が高まっているものと推察されます。

続いて、男鹿中線についてであります。こちらにつきましては、利用者数は微減となったものの、運行収入は微増となっております。要因といたしまして、浜間口や牧野等の起点付近から利用される方が増えたものと推察できますが、乗降調査を精査の上、確認してまいります。

次に安全寺線でございます。こちらにつきましては、昨年度から利用者数、運賃収入ともに横ばいとなっております。安全寺線につきましては、昨年度から温浴ランドバス停での乗降が減少している状況もございますので、状況をみながら対応を検討していきたいと考えております。

続いては入道崎線でございます。入道崎線につきましては、昨年度から利用者数、運賃収入ともに増加しておりますが、主な増加要因といたしまして、9 月に開催されましたねりんピックにおいて、男鹿温泉郷に宿泊された選手の利用が多かったとのことであります。イベント開催時における参加者への周知により、公共交通の利用につながるという事例になっておりますので、今後の参考としてまいります。

続いて、戸賀加茂線でございます。戸賀加茂線は昨年度から利用者数の減少が続いているところでございます。地区別人口も同様に減少傾向がみられるところであり、地域の皆さまと協議をしながら、地域の実情に合った交通モードの検討を行っていく必要もできていると考えております。

次に、潟西北部線であります。昨年度に比べて利用者数の減少が大きくなっておりますが、要因といたしまして、沿線上の美里小学校の児童の減少が関わっております。潟西北部線を利用する児童の数は、平成 28 年度が 51 名だったのに対し、平成 29 年度は 39 名となっております。一般の利用者からの御利用がかなり少なくなっていることに加え、通学対応便を設定していることにより、費用がかかり増しになっていることは皆さまも御承知のとおりかと存じますが、通学対応系統のスクールバスへの振替え等の対応も今後の検討課題と考えております。

最後に、男鹿南線であります。こちらは昨年度上期運行がありませんので、下期の合計数値を比較用として記載しております。昨年度下期と今年度上期を比較いたしますと、ほぼ横ばいとなっておりますが、海洋系統にて若干の減少がみられます。冬季は積雪等の要因もありますので、今後、今年度冬季の状況も確認してまいります。

以上、平成 29 年度の上期運行状況について報告を申し上げます。

○日野会長

ただいま、事務局から説明がありましたが、御質問や御意見はございませんでしょうか。

○久保市委員

先ほどの説明の中での、安全寺線の減少要因として、主なところで温浴ランドバス停の利用者減少が挙げられるということによろしいですか。

○事務局（加賀）

地域の人口減少など、その他の要因もあるかと存じますが、個別のバス停で見た場合に温浴ランドバス停での減少割合が大きかったということでもあります。

○日野会長

先ほどの説明の中で、美里小学校の児童の減少がみられるという説明がありましたが、これは卒業児童と入学児童との差ということによろしいですか。

○事務局（加賀）

児童の減少については、そのとおりです。

○日野会長

それでは、児童数の推移をみていると今後も減少が見込まれるのでしょうか。

○事務局（加賀）

見込みとしてはそうなると思われます。通学対応系統の設定当初は、2 系統 2 台を設定

しなければ児童が乗車しきれなかったとのことですが、今後は1台で児童が乗車しきれる状況がでてまいります。そのため、スクールバスへの振替え等の検討を行ってまいりたいと考えております。

○日野会長

ありがとうございます。他に質問や意見はございますか。それでは、次に、男鹿市地域公共交通網形成計画策定の予定について、事務局より説明願います。

○事務局（加賀）

それでは、男鹿市地域公共交通網形成計画の策定スケジュールについて御説明いたします。

当市においては、平成20年2月に男鹿市地域公共交通活性化協議会を設立し、第1次の男鹿市地域公共交通総合連携計画を策定しております。また、平成26年には、男鹿市地域公共交通総合連携計画改訂版を策定し、現在に至っております。現在の男鹿市単独運行バスについては、総合連携計画に基づき、皆さまで御協議いただいた上で運行を実施しているものであります。

今回策定を予定しております地域公共交通網形成計画につきましては、地域で持続可能な公共交通ネットワークの形成を推進することを目的に、策定をしております。

策定のスケジュールでございますが、平成29年11月現在、東北運輸局様への国庫補助要望調書を提出したところであります。来年には、例年2月末から3月に開催しております地域公共交通活性化協議会総会内で、国庫補助金の申請内容説明及び承認を行いたいと考えております。4月には国庫補助金交付申請を行いまして、5月には交付が決定される予定でございますので、計画調査策定業務委託事業者の選定を行ってまいります。その後6月に開催されます協議会総会内で、計画策定の方針及び内容を報告申し上げます。7月からは市民アンケートや利用者ヒアリングの実施を行ってまいります。それらの調査を踏まえ、11月開催の協議会総会では計画素案をお示しし、内容について御審議いただきたいと考えております。また、12月にはパブリックコメントを実施し、協議会総会での協議内容と合わせて適宜修正を行い、3月開始の協議会総会で計画の御承認をいただくというスケジュールになっております。

なお、計画策定に係る国庫補助金申請等の事務手続きに関しては市で行い、計画内容に関する協議を本協議会内で行っていくこととしております。その他、臨時総会や専門部会、書面による協議が実施される場合もありますので、御承知おきいただければと存じます。

策定スケジュールについては以上となりますので、よろしくお願いいたします。

○日野会長

この件について、御質問や御意見はございましたらよろしくお願いいたします。

○石垣委員

利用者ヒアリングの中で、本協議会の委員が臨席して意見交換を行う予定はありますか。その地区に応じて委員がおりますから、やはり参加して意見等を述べるのがよいと思いま

す。

○事務局（加賀）

利用者ヒアリングについては、当方で各地区に赴きまして、利用者の方から直接ヒアリングを行いたいと考えております。その際は、協議会委員となっておられる各地区委員の皆さまにも御参加いただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

○日野会長

他に質問や意見はございますか。委員の皆さまへの網形成計画に関する説明については、3月の総会の中で実施することによいですか。

○事務局（加賀）

具体的な方針等は3月に説明させていただきたいと考えております。現在までのところで簡単に説明いたしますと、網形成計画で求められていることの1つに持続可能な公共交通ネットワークの形成というものがあります。そのために検討が必要な事項といたしまして、第一に現在の利用実態に即した公共交通の運行があげられます。例として、現在の路線バスは長らく同じルートを運行しておりますが、施設の新設・移設や、利用者ニーズの変化への対応を行っていくことが必要であると考えております。第二にまちづくりや観光分野との連携が挙げられます。現在、路線バスは主として市民の生活路線として運行を実施しており、それとは別になまはげシャトルや観光タクシーなどが観光対応として運行している状態ですが、それらの連携について検討を行います。また、まちづくりの分野では、例として先ほど御説明いたしました JR 男鹿駅について、公共交通の結節点としての役割を検討していく必要があると考えております。

簡単に例を挙げさせていただきましたが、計画策定における課題点、調査方法など詳細部分については、3月改めて説明申し上げます。

○岩淵委員

先ほど事務局から説明いただきましたように、JR 男鹿駅の移設や、集客施設の建設によって、利用者の導線やニーズが変わってくるため、ネットワークの再構築は必須であろうと考えられます。そのためには各種協議会や DMO などの組織との連携が重要でありますので、連携を強化しながら、網形成計画の策定を進めていただきたいと思います。

○事務局（加賀）

策定に当たりましては、なまはげシャトルの運営協議会や、男鹿駅前の利活用の庁内プロジェクトチームからの意見を加味しながら進めてまいります。

○日野会長

他に質問や意見はございますでしょうか。それでは、次に、潟西南部線・船越線の今後について事務局より説明願います。

○事務局（加賀）

それでは経緯について御説明いたします。潟西南部線と船越線の路線図を記載しております資料5を御覧ください。この中で潟西南部線についてですが、地域間幹線系統という国庫補助の対象路線となっております。この地域間幹線系統について、今後は生産性の向上の取組を実施しながら利用状況を改善するよう指示がございました。しかしながら、人口減少も止まらない中で、民間事業者において生産性向上の取組を行っていくことは難しく、今後はコミュニティバス、男鹿市単独運行バスへの転換を含めた検討を行っていくこととあります。また、船越線につきましては、潟西南部線から乗り継ぐ路線であり、一体的なものであることから、2路線を併せての検討となっております。

この件について、秋田中央交通様の方から補足説明をお願いできますでしょうか。

○児玉委員

先ほど男鹿市から説明があったとおり、地域間幹線系統については、利用者の増加、収入の増加、収支率の改善等の生産性の向上のための計画及び目標を立てて、運行を実施していくこととなっております。

しかしながら、潟西南部線については、昨年から比べて平均乗車密度が0.5ポイント下がっており、数値としてもかなり落ちている状況です。要因につきましては調査を行っているところですが、通学利用の減少や、人口の自然減、転居等による社会減もあるものと考えております。運転手からの聞き取りでも、朝夕の通学通勤時間における乗車が、体感ではあるがかなり少なくなっているとの報告を受けております。

このことから、今の路線形態のままの運行では今後の改善は難しいと考えられます。潟西南部線及び船越線の2路線については、コミュニティバス化やデマンド運行を含めた地域の実情に合った運行を実施していくことについて協議をすすめていく必要があるということで、今回の報告事項としていただいたところとあります。

○日野会長

ただ今の説明について、御質問や御意見はございましたらよろしくお願いいたします。

○事務局（加賀）

補足といたしまして、秋田中央交通様が実施した10月の乗降調査において、潟西南部線は1往復当たり3人程度の乗車、船越線は1往復当たり4人程度の乗車であったとのこととあります。また、この2路線について定期券を購入している児童の数について、平成27年度及び28年度は概ね30人以上であったのに対し、平成29年度は24人となっております。

今後、コミュニティバス化の検討を実施するに当たってのスケジュールですが、秋田中央交通様から路線の廃止届が提出されたのち、地域の皆さまと協議しながら、総合連携計画に基づき、生活交通路線を維持するための廃止代替運行の実施を検討していくこととなります。路線の形態については、地域の皆さまとの協議の中で決めていくこととなりますが、網形成計画の策定の中でも併せて検討が必要であると考えております。

幹事会の際、若美地区の三浦委員より、児童や学生については駅及び学校までの送迎がほとんどで、お年寄りの方も地域内での乗合がかなり増えていると伺ったところです。も

しよろしければ、船越地区の小玉委員から一言いただいてもよろしいでしょうか。

○小玉委員

船越地区は鉄道駅があるため、市役所方面にくるにしても、鉄道を利用しているようです。そのため、バスの利用について住民から意見がくることがなかなかないという状況です。

○日野会長

ありがとうございます。本件については、この後の総会の中で協議を進めていくということによろしいですか。

○事務局（加賀）

スケジュールにもよりますが、早ければ来年3月の協議会の中である程度の進め方をお示しできればと考えております。本協議会や地域での協議を踏まえ、地域の実情に合った路線とするため、早めの対応を行ってまいります。

○日野会長

その他よろしいでしょうか。それでは次に進めます。今後のスケジュールについて事務局より説明願います。

○事務局（加賀）

今後のスケジュールでございますが、来年2月末から3月にかけて第3回の総会を予定しておりますので皆さまよろしく願いいたします。併せまして、連絡事項が2つございます。

1 点目といたしまして、年末を迎えるにあたりマイナンバーの確認を来月予定しておりますので御対応よろしく願いいたします。

2 点目といたしまして、この度、国際教養大学との協力により、グーグルマップ上で男鹿市の路線バス及びなまはげシャトルの経路検索ができるようになりましたので報告いたします。便利な機能ですので、周知を図って利用の促進につなげたいと思っております。

連絡事項は以上です。

○日野会長

ただいま説明がありましたが、質問などはございませんでしょうか。それでは以上をもちまして、本日の議事日程を終了いたします。進行に御協力くださいます、大変ありがとうございました。

○事務局（八端）

これで本日の男鹿市地域公共交通活性化協議会総会を終了させていただきます。大変ありがとうございました。
(午後2時35分閉会)

会議の次第を記載し、これを相違ないことを証明するためにここに署名する。

平成 29 年 月 日

会 長

委 員

委 員